

ちゅうぎんFGの事業基盤

ちゅうぎんFGを支える事業基盤

当社グループは岡山県を地盤に、隣接する広島県、香川県、兵庫県を中心とした営業基盤（以下、「東瀬戸内経済圏」といいます。）としています。

瀬戸内海は古来より国内外を結ぶ海上交通の大動脈で、戦後はその輸送利便性から太平洋ベルトの一角として経済成長を支えました。1988年には瀬戸大橋が開通し、四国との結びつきを強めながら、東瀬戸内経済圏は今なお発展の歩みを続けています。

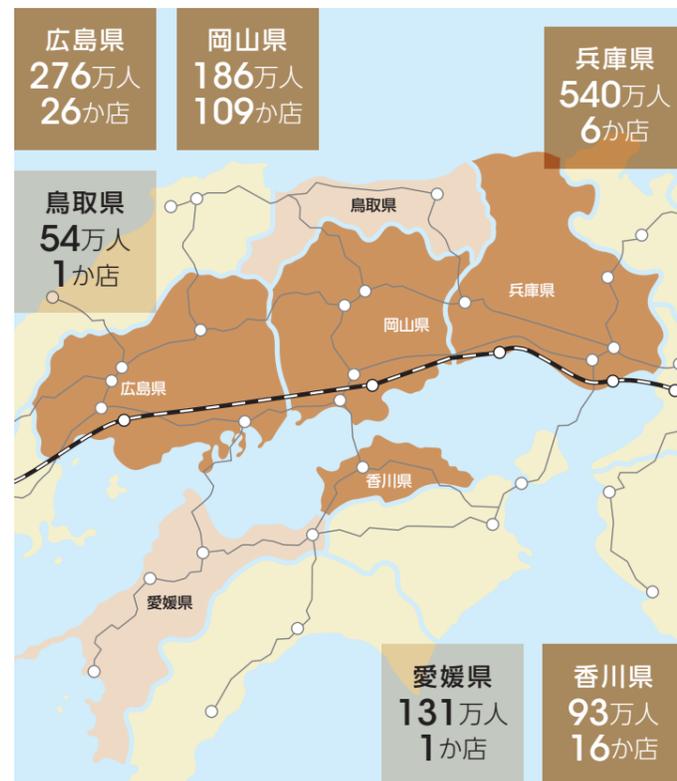
当社グループは今後もこのような広域経済圏を営業基盤に、広域地銀グループとして活動してまいります。

ネットワーク

国内は岡山県・香川県・広島県・兵庫県を中心とした広域のネットワークを有しています。そのネットワークを最大限に活用して、地域社会やお客さまの多様な課題に寄り添い、解決してまいります。

海外では、アジアを中心に拠点を展開し、お客さまの海外ビジネスに関するサポートをおこなっております。

ちゅうぎんグループの事業エリア



※人口は総務省「人口推計（2022年）」

エリアの特徴

中四国のクロスポイント

岡山県は、本州と四国を結ぶクロスポイントで、交通の要衝です。鉄道では山陽新幹線、山陽本線、自動車では中国自動車道、山陽自動車道など西日本の交通の大動脈が県を横断し、これらと瀬戸大橋線や瀬戸中央自動車道が接続されています。

上記の通り、交通網が発展していることに加え、平野が多く、物流等に適しており、全国のメーカーや流通企業が西日本の拠点として数多く進出しております。

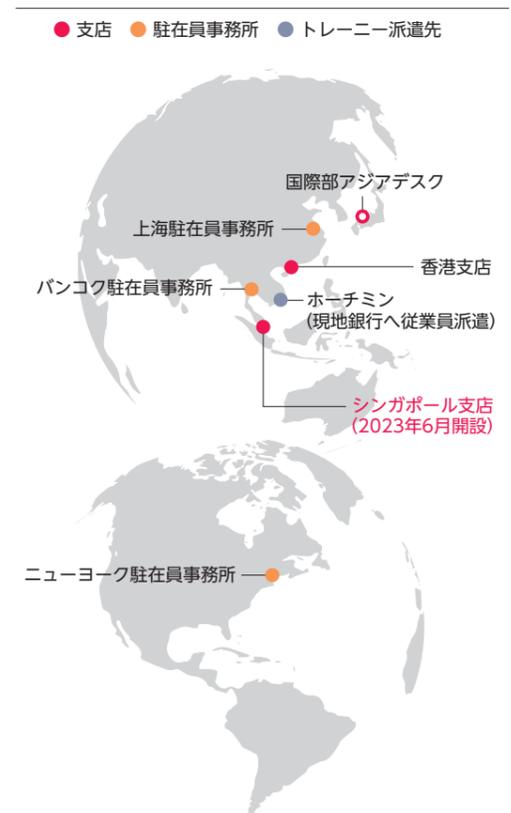
温暖な気候と豊富な資源

岡山県は、降水量1mm未満の日が年間を通じて多く「晴れの国」と呼ばれ、瀬戸内地域は雨が少なく、温暖な気候に恵まれています。

また、日本で有数の木材生産地であるように、豊かな森林資源を有しています。

さらに、美しい景観が広がる瀬戸内海国立公園や日本三名園の一つである後樂園など、多くの観光資源もあります。

海外拠点



産業構造

当社グループが営業基盤とする東瀬戸内経済圏は、全国でも有数のコンビナートである「水島臨海工業地帯」に代表される石油、化学、鉄鋼、自動車といった製造業が集積しています。

さらに、ジーンズ・ユニフォーム・学生服等の繊維製造も盛んであり、製造業の割合が高い地域です。

岡山県 76,064 億円

上位5業種	実額（億円）
製造業	22,297
不動産業	8,044
保険衛生・社会事業	7,716
卸売・小売業	7,051
専門・科学技術、業務支援サービス業	4,861

広島県 115,554 億円

上位5業種	実額（億円）
製造業	30,065
卸売・小売業	17,237
保険衛生・社会事業	11,428
不動産業	11,298
専門・科学技術、業務支援サービス業	7,835

香川県 37,344 億円

上位5業種	実額（億円）
製造業	7,142
卸売・小売業	5,006
不動産業	4,566
保険衛生・社会事業	4,242
専門・科学技術、業務支援サービス業	2,483

兵庫県 217,359 億円

上位5業種	実額（億円）
製造業	60,465
不動産業	28,772
卸売・小売業	20,606
保険衛生・社会事業	20,357
専門・科学技術、業務支援サービス業	15,270

出典：各都道府県HP「県民経済計算」

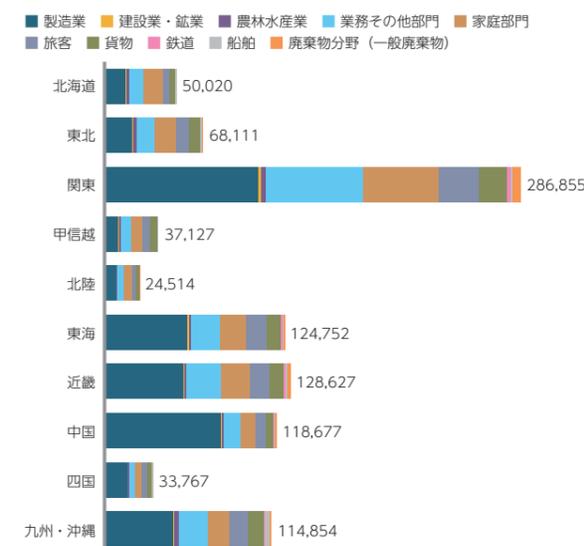
地域が抱える課題

東瀬戸内経済圏は交通の要衝であり、都市部へのアクセスが良好なことに加え、温暖な気候に恵まれ、個人のお客さまにとっては住みやすく、法人のお客さまにビジネス機会の増加が今後も見込まれる地域です。

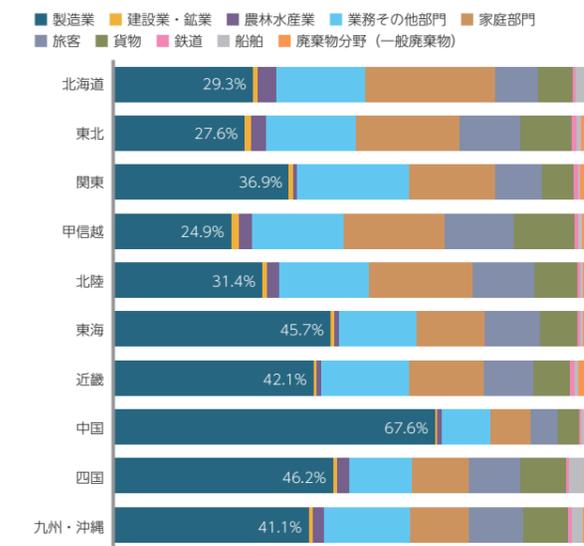
今後多方面でポテンシャルを秘めた地域である一方、環境問題への対応が課題となっています。

当社グループは、サステナブルな地域社会を実現できるよう、地域が抱える社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

部門別のCO₂排出量（2018年度）（単位：千t・CO₂）



部門別のCO₂排出量構成比（2018年度）（単位：千t・CO₂）



出典：環境省「自治体排出量カルテ」より当社グループ作成